

発刊にあたって



長崎県軟式野球連盟

会長 八 江 利 春

昭和20年8月に終戦を迎え、県内各地で徐々に球音が聞こえるようになってきた昭和26年に始まった「長崎県下郡市対抗軟式野球大会」も、60回大会を数えることができました。これまでに大会主催して参りました長崎新聞社並びに県軟式野球連盟、それに大会主管の長崎市連盟役員及び関係者のご尽力に対し衷心より感謝を申し上げる次第であります。

60年に及ぶ大会で、700試合を超える熱戦が展開された模様は翌日の長崎新聞紙面に掲載され、選手やチームにとっては県民の野球ファンや地元の人々そして友人知人たちに報じられたことに感銘をおぼえ励みとなったことであらう！！。

長崎県軟式野球選手権大会が60回の節目を迎えるにあたり、その熱戦をまとめた記念誌『60年の熱戦譜』を発刊できますことは、県軟式野球連盟の喜びであり、その歴史を後世に残せる一冊となりました。第1回大会から60回までの資料収集や編集にあたった連盟理事で対馬支部吉野徹理事長の御苦勞に深甚なる敬意を表すとともに心よりお礼申しあげます。

また県軟式野球連盟にとっても大きな財産として、広く多くの人々に活用されるものと期待しております。

平成26年には「長崎がんばらんば国体」が開催され、軟式野球競技会は佐世保市並びに県北地域5会場で実施されることになっております。県連盟においても大会の成功に向け、全力で取り組むため役員及び関係者一同がんばって参ります。そして「長崎県選抜」として大会に出場するチームの競技力向上も合せて行っているところであります。

県民の皆さんの長崎県軟式野球連盟並びに各支部に対して、尚一層のご支援を賜わりますようお願い申し上げます。発刊のごあいさつといたします。